太田市立休泊中学校の学力向上の取組

自主的に学習に取り組む態度の育成と書かせることによる思考力の強化

具体的な日常的な方策

①授業の質的向上：週案を年間5回提出し、教務・教頭が中心となり学習進度の確認する。
ねらいやふり返りを意識した授業構想を行う。

②特配教員の活用：数学では3年生で少人数指導・習熟度別指導を取り入れる。
道徳では年間指導計画の確実な実施とTTにより指導効果を高めて学習規律の向上を行う。

③指導力の向上：管理職・教務による日常的な授業参観により指導助言を行い授業力を高める。

④家庭学習の充実：学習方法の支援。予習・復習など授業と関連を持たせた授業展開で学習効率を上げる。

自学・自習が定着

1800分マラソン

3年生は11月下旬から3月の公立試験直前まで、早朝30分の自学自習の時間を設定する。1日30分を60日行う「1800分マラソン」を実施している。

長期休業日の補習

特色ある実践

授業展開での工夫

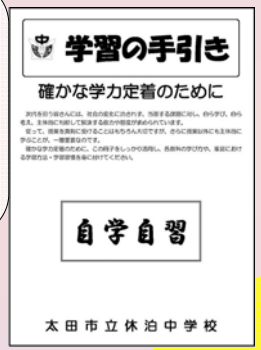
全ての教科において、「ねらい」「課題」「まとめ」「ふり返り」のカードを利用し、学習展開を計画的に行い、1時間で学んだことが捉えやすいように工夫している。

書かせる場の工夫

自学・自習の定着のため

学習の手引き

中学校入学後の教科オリエンテーションで各教科の授業の取組や家庭学習方法、ノートの取り方など基本的なことを指導する。手引きには、先輩からの工夫例も載せている。**【学習の手引き参照】**



小学校学校卒業後の春休みに学習週間を付けるために約30ページの問題を中心とした課題を与える。

入学前のはたらきかけ

入学前の春休みの課題

ミニホワイトボードや掲示用ワークシート等を活用して、思考力・判断力を高めるために、思考する場・協議する場・考察する場をしっかり設け、学級全員で練り上げる力を付ける。

また、ミニホワイトボードは、班内の検討にも使われ、視覚的に生徒が集中しやすくなり、協議内容が深まる。